

申1号 第3回定期大会発言等に基づく申し入れ交渉経過②

4項、ヒューマンエラーに対する不必要な日勤教育を是正すること。また、当該社員に対しての教育のスケジュールを具体的に示し、再発防止に向けた有効な対策を講じること。

<回答>必要な教育は実施しているところである。

- (組) 教育スケジュールが終了後も日勤教育が継続されている事やスケジュールの具体的な説明がないという声もある。
- (会) 事象や個々によって変わってくるが。スケジュール等に関して基本的には現場長の判断。
- (組) 反省しながらも日勤が続くことで、自分のどこがダメなのかという不安になっている状況がある。
- (会) 現場長が当人と話していると思っているが、事故に対しては対策を立ててやっていかなければならないという問題がある。

5項、福島総合運輸区において、車掌の慢性的な要員不足により休勤が多く発生している。早急に要員を改善すること。

<回答>必要な要員は確保しているところである。

- (組) 休日出勤が多く、明らかに要員が足りていないというのが職場の声である。
- (会) 仙台支社では全体的に見ても余裕のある状況ではないかもしれないが、必要な要員は確保している。時期による出っこみ引っ込みは出てしまう。これからも改善の努力はしていきたい。
- (組) 指導員が乗務する回数が多いのはどうなのか。
- (会) 多いのがいいとは言えないが、乗務の技量維持には必要であると思う。問題があれば改善していく。

6項、社友会への勧誘が、勤務時間内に行われている状況がある。そのような行為を行わないように周知、教育を実施すること。

<回答>就業規則に則り取り扱うこととなる。

- (組) このような事象が出ているのを聞いているが、把握しているのか。
- (会) そういったことは聞いていない。そういったことがないように指導していく。
- (組) 2項でも確認したがそのようなことはあってはならないという認識でいいか。
- (会) その通りである。

こういった事象があれば問題であることを確認！こういったこと事には断固是正するための行動をしていきます！